

小規模多機能型居宅介護事業所 牧島荘 第1回運営推進会議議事録

1. 開催日時 令和元年12月17日(火) 10:00~11:00
2. 開催場所 介護老人福祉施設 牧島荘(会議室)
長崎市牧島町9番1
3. 出席者運営推進委員 社会福祉法人 喜老会 理事長:豊福美佐子様
社会福祉法人 東望会 理事長:草野賢一様
民生委員:長野康子様
牧島町老人会会長:牧島博孝様
ご利用者ご家族:塚原千幸人様
ご利用者代表:
東総合事務所職員:森知佳子様
4. 施設構成員 理事長兼小規模管理者:栗林裕子
施設長:前川恒子
小規模看護主任:前田都子
5. 報告事項 小規模多機能型居宅介護開所後2ヶ月の活動報告
配布資料;年間行事計画・利用状況内訳(10月1日から11月30日)2部

職員 前田;活動報告を、スクリーンと配布資料を基に説明

推進委員 豊福様;介護1でサービスは何回利用できるんですか。

職員 前田;基本は週3回です。登録者でサービスを分け合って利用する事業です。サービス内容は慎重に決めております。

推進委員 豊福様;今まで利用していた方の移行だから、回数が減ったりする場合は難しいですね。

職員 前川;介護度に関わらず、一人の方に週4回サービスを組み合わせて提供することが原則とされています。介護度に合わせて基本の利用回数等を定めておりますが、その方の状況に合わせて柔軟に回数調整させてさせていただいております。在宅復帰の目的で牧島荘の特養か

ら小規模を利用されている方は介護度1で、最初の1か月は毎日サービスを利用されました。2か月目からは週末ご家族がいらっしゃる時に日中自宅に帰られています。少しずつ自宅での生活が慣れてきたら、帰る回数を増やし最終的には週3、4回自宅で過ごすだけ予定です。他にも同居のご家族の入院に伴い、介護度に関わらず毎日ご利用してもらっている方もいらっしゃいます。この様な対応をする為にも定員に余裕をもって計画する様にしています。

推進委員 塚原様；小規模が通いの定員が18名だとは思っていませんでした。厚生労働省が考えた事とは思いますが、定員数を増やすことは可能なんですか。

総合事務所 森様；人数には決まりがあります。小規模多機能の名前にも表れているように、少人数での事業になりますので、定員数をこれ以上増やすことはできません。小規模を行っている事業者が複数運営されている所はあるようです。

推進委員 塚原様；デイサービス終了に伴い利用を中止され、他のサービスも利用されていない方がいらっしゃる様ですが、その方々への対応はどの様にされてますか。

職員 前田；3名の方が利用終了となりました。要支援の方でミニデイサービス利用の提案を行いました、希望をされずデイケアを利用されています。他2名の方は介護支援専門員から、その方にあつたサービスのご案内をいたしました。希望されなかったようです。時々訪問させていただき、ご様子を確認しながら必要なサービスの提案を行わせていただいています。

職員 前川；移行にあつて説明不足だつたと思います。配布資料に記載している通り、サービス開始後に利用を終了された方が2名いらっしゃいます。先々には必要になるからということではなく、今必要なサービスを選んでいただく事が必要だつたと思っています。今後、ニーズがあればサテライト事業所を持つことも検討していきたいと思っています。

総合事務所 森様；そうですね。必要なサービス、その方にあつたサービスを選んでい

ただのことです。事故、ヒヤリハットを確認させてください。

職員 前田；デイサービスからの移行の方が殆どでしたので、職員もご利用者のことをしっかり把握できており、事故を未然に防ぐことができました。ヒヤリハットは3件です。

推進委員 塚原様；ヒヤリハット3件というのは少ないですね。ヒヤリハットを出していく仕組みが必要なのではないですか。事故や苦情の共有はどのようにされているのですか。

職員 前川；ヒヤリハットは各チームで都度ノートに書き出し、月に1回のリスクマネジメント委員会で共有しています。事故、苦情についてはまずは職員一斉メールで共有し、その後の対応や対策など詳細は報告書で確認するようにしています。また第三者委員の方にも確認していただいています。

推進委員 豊福様；喜老会では、事故報告書と別にヒヤリハット報告書も作っています。統計を取ったり振り返るにも便利です。

推進委員 草野様；ここへ入所して1年2か月で感じることは、職員の皆さんが報告書を書くのにとっても時間を費やしていることです。

職員 前川；第三者委員の方からのご指導もあり、チェック方式など書類は書きやすく工夫をしておりますが、簡潔に記入する事は難しい様です。

職員 栗林；書類を書くことばかりに気を取られ、同じような事故が起きても対策の見直しがされていないこともあります。指導をしていきます。

推進委員 牧島様；介護保険の施設で申し上げにくくはありますが、自身は身体も脳も健康に長生きを目標としています。特にグランドゴルフはよく歩きよく笑い計算もしますので、認知症予防に優れたスポーツだと思っています。仲間には90代が2名もいてまだまだ元気です。なるべく介護保険のお世話にならずやっていきたいと思えます。微力ながら今後も参加させていただきます。

推進委員 長野様；新しい事業が始まったばかりですので、今は課題が多く見えるのか

もしれません。1年経って、2年経って小規模ができて良かったとなっていけば良いんじゃないかと思います。とにかく一つひとつに向き合いながら進んでいってください。

職員 栗林；いただいたご意見に一つひとつ向き合い解決していきながら、皆さんに喜んでいただけるサービスを提供できるように取り組んでいきます。また、前回お話しいただいた、職員の業務負担によるストレスにも目を向けてまいります。本日はありがとうございました。